



島根県立三刀屋高等学校 掛合分校

校長発 『ほんりゅう』 【11月号】 令和6年11月12日



■ 「私には夢がある」—I Have a Dream.—

猛暑、酷暑と表現された夏は過ぎましたが、今年最大の満月「スーパームーン」翌日（10月17日）にもまだ夏日を記録するなど、なかなか秋らしさを実感しにくい天候が続きました。それでも、次第に冬をも意識させられるような季節となってきました。

今年度も半分が終わりました。1学期には遠足や体育祭、2学期には球技大会や研修旅行などの学校行事、また地域に出かけての探究活動・体験活動も数多く実施してきました。その都度生徒の皆さん一人一人の充実感や満足感にあふれた表情や姿を目にすることができました。今年度重点目標の一つに「自己表現のできる環境づくり」を掲げ、部活動や行事への参加、生徒会や生徒発の活動の推進など生徒主体の活動の活性化、活躍の機会や場の創出と積極的発信をその具体策としてあげています。学校ホームページや『かけこ通信』では、生き生きとした活動の様子や成果を紹介しています。ご覧いただき、生徒の皆さん一人一人の“自己表現”の一端を感じとっていただければと思います。

さて、タイトルに示した「私には夢がある」I Have a Dream.とは、1963年8月28日にアメリカ合衆国の首都ワシントンD.C.でマーティン・ルーサー・キング・ジュニア博士が行った演説に繰り返し登場するフレーズです。キング博士の“夢”とは、あらゆる民族あらゆる出身のすべての人々に対する自由と民主主義の実現でした。彼は平等な公民権を保障する法律の制定を求めて奔走し、1964年にはこの功績が認められノーベル平和賞を受賞しています。

ひるがえって、私自身はこれまで“夢”について語ってきたであろうか？キング博士のような壮大な“夢”を語ることはできないが、自分の中に“夢”を抱いて生きてきたであろうか？そう自問自答しました。契機となったのは、ある研修でのアイスブレイクでした。研修講師の方から「今日の研修を始める前にお互いに自己紹介をしてもらいます。その際、『私には夢がある』と最初に言い、ご自身の“夢”を交えながらお話してください。」と言われました。その時は、文字どおり“夢”のような話でお茶を濁した感じでしたが、研修後に改めて思い返してみました。思い起こせば、最初に“夢”について語ったのは保育所の育了式の時だったと思います。少人数の小さい保育所でしたが、保護者の前で一人一人が「大きくなったら」と題して画用紙に絵を描き、将来の“夢”について発表しました。私は、「大きくなったら土木作業員\*になりたい！」と言ったことを鮮明に覚えています。父親が建設関係の仕事に携わっており、子どもなりに父親を尊敬していたのだと思います。成長するにつれ就きたい職業は変わり、中学・高校の頃には教職に就くことを目標として過ごしていました。しかし「教職に就くこと」自体を“夢”と捉えてはいなかったように思います。「こういう教師になりたい」とか「教師になってこうしたい」という思いはありましたから、むしろこちらの方が“夢”に近かったと言えるかもしれません。“夢”とは単に目指す職業に就くことではなく「将来実現させたいと思っていること」とであると言えるのではないのでしょうか。就きたい職業を選択した上で「こんな〇〇を目指したい」「〇〇になってこういう形で社会に貢献したい」とか、逆に「こういう形で社会に貢献したいから〇〇に就きたい」といった

考え方です。さらに言えば「実現させたい」というのは、実は自分自身のことであり、“夢”とはつまり「自己実現を目指すこと」と置き換えることもできるでしょう。

掛高では「掛高には『本物』がある。」というキャッチフレーズを掲げ、本物の少人数教育と本物の地域密着を両輪として教育活動を進めています。「学び直し」「進路実現」「地域探究」「交流・発信」のキーワードのもと、生徒の皆さん一人一人の自己実現につながるようなプログラムを用意しています。

生徒の皆さん一人一人が「なりたい自分になるために」「自分はこうありたい」という“夢”を語る人になれるよう私たち教職員も全力で支援していきたいと思っています。

さて「私には夢がある」、皆さんはこのフレーズの後にどんな言葉を紡いでいきますか？

\*当時は別の表現をしましたが、今回はこの表現にしています。



## 三刀屋高等学校掛合分校グランドデザイン

使命

きめ細かな指導・支援とわかりやすい授業によって学力を育むとともに、地域をフィールドとした探究学習や、多様な人々との交流を通して、自立心を高め、地域や社会へ貢献する意欲をもった人材を育成する

**校訓**『志操堅固（しそうけんこ）』  
自分の考えや志を、強い意志で守って貫くこと

**教育目標**

- (1) ふるさとを愛し人を愛し、志をもって社会に貢献する人材の育成
- (2) 自己の可能性に挑み、主体的に道を拓いていく人材の育成

**目指す生徒像**

- 《学力》 勉学・勤労に主体的に取り組み、自らの可能性を広げていく生徒
- 《社会力》 自己管理能力を身につけ、興味・関心をもって社会とかわっていく生徒
- 《人間力》 自他の人権を重んじ、誠実な言動で人間関係を築いていく生徒

**本物の少人数教育**

「学び直し」の掛高

- ・50分授業、毎日6時間の固定化された時程
- ・ICT機器をフル活用したわかりやすい授業
- ・生徒が主体的・協働的に学ぶ授業スタイル
- ・漢字検定・英語検定を通した基礎学力の定着
- ・家庭科検定・商業科検定を通した実践力の強化
- ・掛高オリジナル「掛高基礎力テスト」の実施
- ・A1型教材を活用した個別最適な学び

掛高には「本物」がある。



チム  
カケコー

SINCE 1953

**本物の地域密着**

「地域探究」の掛高

『地域をフィールドとした探究学習』

- ・1年「地域探究学習」掛合町内課題解決提案「探究基礎学習」データ収集・解析など
- ・2年「地域貢献学習」雲南ブランド米応援PJ「海外研修旅行」地元産品の海外PR活動
- ・3年「地域創造学習」地域活性化策提案「個人課題研究」自由テーマの卒業研究

「進路実現」の掛高

- ・進路実現のための個人指導を徹底
- ・職業体験（インターンシップ）、進路ガイダンス
- ・将来、地域・社会で活躍するためのキャリア教育

「交流・発信」の掛高

- ・幅広い世代の人たちとの交流を通した学び
- ・保育園・小学校・中学校との交流を通した学び
- ・各種研究発表会でのプレゼンテーション

**求める生徒像**

『何事にも志をもって意欲的かつ誠実に取り組むことのできる生徒』

- (1) 常に自分を磨き、学び続ける生徒
- (2) 他者とのコミュニケーションを大切にする生徒
- (3) 夢や目標に向かってチャレンジする生徒

**掛合分校学校運営協議会**

**掛合分校PTA  
掛合分校後援会  
掛合分校同窓会さなの丘**

地域の関係諸機関

- ・掛合の子どもを育てる会（保小中高連携）
- ・雲南市社会福祉協議会
- ・掛合町内自治組織
- ・掛合町内交流センター
- ・地元企業、営農組合 他

**雲南コミュニティハイスクールコンソーシアム (UCHC)**

～多様性と温もりの中から学び合う日本一チャレンジに優しい教育環境～

- ・雲南市
- ・三刀屋高校
- ・大東高校
- ・一般社団法人 ine

雲南市スペシャルチャレンジジュニアプログラム

地域ボランティア活動  
小学生への読み語り 他

雲南コミュニティハイスクールコンソーシアム (UCHC)